

愛媛大学医学部附属病院を受診している患者さんへ

研究に対するご協力をお願い

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。この研究は、愛媛大学医学部附属病院の臨床研究倫理審査委員会での審査・承認後、当院で病院長の許可を受けて実施しております。

今回の研究では、患者さんのカルテの記録や通常の診療で行った検査のデータ（採血の結果や MRI・エコーなどの画像）を使用します。

研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテの情報や検査データを利用してほしくない方は、以下のお問い合わせ先までご連絡下さい。ただし、研究結果が出た後など研究の対象から削除できない場合もありますのでご了承ください。

※試料・情報の利用を拒否された場合でも、あなたが不利益を受けることはありません。

研究課題名	AI を用いた腹部エコー画像の肝脂肪量の評価
研究機関名	愛媛大学医学部附属病院
試料・情報の提供を行う研究機関の長	愛媛大学医学部附属病院 病院長 杉山隆 (試料・情報の提供元の管理責任者)
研究責任者 (個人情報管理者)	(診療科名) (職名) (氏名) 消化器・内分泌・代謝内科学 医師 日浅 陽一
研究期間	研究機関の長の許可日 ～ 2027 年 3 月 31 日
対象となる方	2017 年 5 月から 2025 年 5 月に愛媛大学医学部附属病院を受診された方のうち腹部エコー検査、MRI-PDFF(Proton Density Fat Fraction)検査を受けた患者さん
利用する試料・情報等	(利用するカルテ情報) 性別、年齢、発症時期、合併症、既往歴、身体所見、血液検査データ、画像検査データ、治療状況 等
研究の概要 (目的・方法)	脂肪肝は有病率の高い慢性肝疾患で肝硬変や肝細胞癌などの発癌につながる重要な疾患です。患者さんへの侵襲を伴わず、日常診療で使える高精度な脂肪肝診断が求められています。日常の検査で行える脂肪肝診断として、古くから肝腎コントラストを用いた診断が行われてきましたが、簡便である反面、精度面での課題がありました。本研究の目的は、AI による解析を導入することにより、腹部エコー画像の脂肪肝の診断精度を向上させることです。通常の診療の中で行われた MRI 画像や腹部エコー画像を研究に用います。通常の診療の中ですでに行われた検査データ等を用いた研究のため、患者さんへの費用負担や健康被害は生じません。
個人情報の保護について	この研究で収集される情報等は氏名、住所、生年月日など患者さんを直接特定できる情報を削除して誰のものかわからないようにした上で利用いたします。患

	者さんを特定するための情報（対応表）は、院内で個人情報管理者が厳重に保管し外部への提供は行いません。 また、保管されている情報等を新たな研究に利用する場合は、新たな研究として倫理審査委員会に申請し、承認されてから利用いたします。なお、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。
お問い合わせ先	愛媛大学医学部附属病院 消化器・内分泌・代謝内科学 丹下正章 791-0295 愛媛県東温市志津川 454 Tel: 089-960-5308